

教育振興大綱（案）に対する教育委員からの主な意見

氏名 大高 究

1 将来像について

■意見

「言葉の力」は非常に重要だと考えている。

現代の日本語は、「若者言葉」と言われるように、本来の言葉の意味が世代間で解釈が異なり、コミュニケーションが本当に取れているか疑問に感じる。このままでは、ひらがな、カタカナ、漢字という類い稀な日本語の文化、美しい日本語が失われてしまうのではないかと心配している。

グローバル社会となり、使える外国語も1ヵ国では不十分といわれるなか、英語力を身に着けることも大事ではあるが、我々は日本人であり日本語が基本だと思う。まずは国語力を伸ばすことが大事だと感じる。

まさに4技能が重要で、現代の子どもたちは、タブレットなどにより文字を書く機会が減少していることや、人前で話す機会、コミュニケーションする機会も減少し、「言葉の力」が低下していると感じる。保護者世代から日本語の使い方や文化に対する理解がないことや、時代背景などもあり、難しい問題ではあるが、市として教育において「言葉の力」を念頭に置く方針は重要だと考える。

2 基本方針1について

■意見

(1)

生活習慣の改善については、健康寿命に直結することであり、子どもだけでなく、大人にとっても重要であると考えます。

若い頃から正しい生活習慣を身に付けることが重要であり、子どもたちが「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身に付けるためには、親の協力が不可欠である。

また、子どもだけでなく親自身も正しい生活習慣について理解と意識をする必要がある。

体力向上については、現代の子どもたちの運動時間は昔と比べて減っており、これも重要であると考えます。

やはり、遊ぶ場所や運動する場所が無いなどの問題もあるが、現在は地域の活動が盛んになっている面もある。まずは、子どもたちが野球やサッカーなど、地域で行われているスポーツに参加し、夢中になれる活動を見つけることが大事であると感じる。

学校の体育館にもエアコンがつくようになるので、そのような環境を工夫して使うなど、子どもたちがスポーツに親しむ機会を設けることが重要であると考えます。

食育については、給食費の無償化も含めてよくやってもらっているので、ぜひこのまま取組みを継続させてください。

3 基本方針2について

■意見

特にはないが、将来像にあったとおり日本語に焦点をあててほしいと感じる。

4 基本方針3について

■意見

特にはないが、将来像にあったとおり日本語に焦点をあててほしいと感じる。